

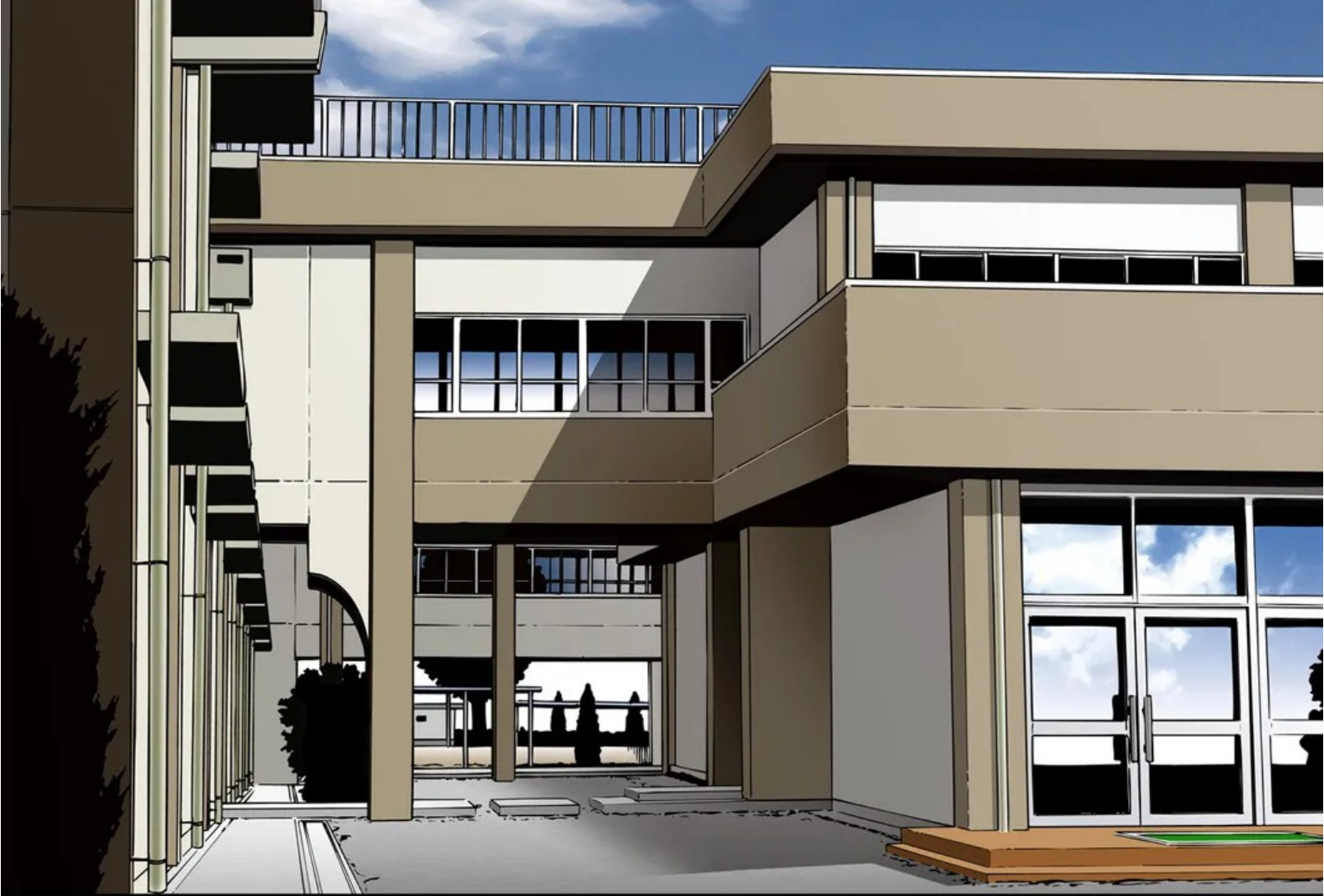


種受け村

~捧げられた裸女の性祭~

2

Willplus/KEWS



ううっ…何て大きな
おっぱいしてるの

私なんかより
全然大きいわ

摩耶 まずいよ
こんなところで…

胸をしまえって
…ううう

何バカ言ってるんだ
：おにいはおれの
おっぱい見ないと
勃起しないべ…

そそんな事は
…あああ

クニゅッ

クニゅッ

少女の手に
握られた
先輩のペ〇スは
思いのほか
大きく見えた

ニゅぽッ

ニゅぽッ

ややだっ…
私ったらだめっ…
先輩のそんなところ
見たら…



あっ…ああ…
ま 摩耶…
だめだっ…!!

あああ…



ま…まあ…
あんな事…





くおおおお!!

ズッポッ
フッポッ



やっぱおにいの
ち○ち○は
こうじゃねえとな



ウツソー!!

んぶふ…
気持ちいいべ?

あああ…
ま 摩耶っ…!!

おれの口ん中で
おにいのち○ち○
ピクピクしてっど

あつ…
あああ

んぽっ

義彦先輩…

口でしごいて
やつからな…
んっ…じゅぷっ
じゅぷっ

んぽっ

じゅぽっ

んぽっ

おれ 村長様に
言われて迎えに
来たんだ

んおおおっ…!!

迎えに？

んぽっ
じゅぽっ

んぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ







今日はまだ子種汁
飲んでなかつたから
ちようと良かつたべ

ううう：毎日
飲まなくても
いいだろ？



ううっ…
摩耶村でもまだ
ずっとこんな事
してるのか？

ああ：たける
以外はな
おれあいつ
嫌いなんだ



おれ あんま
好きじゃねえ
でもおにの
だったら別に
嫌いじゃねえだ



摩耶はこの習慣
どう思ってるんだ？

習慣……？

ううう…
ま 摩耶…
あああ

義彦先輩の
気持ち良さそうな
力才…

おにい
気持ちいいべ？
おれの口と
おにいのチ○チ○
相性がいいからな

おっ…
おおお
…摩耶っ!!

そろそろだべ
…わかるど

おおお…
ううっ…!!

ハッ
ハッ
ズッ
ズッ
フッ
フッ

少女は髪を振り乱し
狂ったような勢いで
顔を前後に振り始めた

んぽん んぽん

んぽん ズぽん

フポん

フポん

フポん

フポん

んぽん

少女のいやらしい
責めのせいで
義彦先輩の
ぺ○スはまた
一回りくらい
大きくなった
ように見えた

おれのロマ○コ
やつぱ最高にいいべ
…ほれほれ

んぽん

ズぽん

フポん

んぽん

んあああ…
ま摩耶…だめだっ
…もうもう
ガマン出来ない

ああ…やだっ

んぽん

ズぽん

フポん

ジュポん

先輩にそんな事
しないでっ!!

出したくなつて
きたべ？
いいどおにい
いっぱい射精しろ

ニュポッ
ジュポッ

最後の最後まで
ロマ○コで
しごいてやつからさ

ウポッ
ジュポッ
ウポッ
山ポッ

先輩っ
いやああっ!!

おおおっ…

もうだめだっ!!
出すぞ! 摩耶
出すぞ!!

せ 先輩っ…!!

がっ

がっ

がっ
がっ

いいど 出せおにい…
おれがロマ○コで
すべて受け止めてやる

ハポッ
ハポッ

あああつ出る！
イツ…イクッ！！

ハポッ
ハポッ
ハポッ

先輩っ…

ドビュッ
ドビュッ
ドビュッ

ドクッ
ドクッ
ドクッ

ドクッ
ドクッ
ドクッ

んんん：おにいの
子種汁がおれの
口の中にいっぱい

あの子うれしそうに
ウッソー
精液を飲んでる

ゴワッ

んんん：おにいの
子種汁がおれの
口の中にいっぱい

ゴワッ
ゴワッ!

ウツソー
あの子うれしそうに
精液を飲んでる

い

いやはあああゝっ!!

私は音をたてないように
部室の前を離れた

いやはあああゝっ!!

私は音をたてないように
部室の前を離れた

義彦先輩は私だけの
ものだと思ってたのに



いえ
やっぱり義彦先輩は
私だけのものよ！
あの子に取られて
たまるものですか

翌日から義彦先輩は
学校に来なくなつた



私はあせって義彦先輩の
友達に聞いて回つた

先輩はどこに
行つたんですか？



急に田舎に
帰らなくちや
ならなくなつた
らしいよ

田舎？

私はその時摩耶という
少女の事を思い出した

確か東北の
「多田根村」とか
言ってたなあ

え——っ!!

多田根村：
私の夢に出てきた
村の名じゃない



摩耶という子に
義彦先輩を取られたくない



私は義彦先輩を追って
「多田根村」へ行く決心をした

ああんっ!!



ギャル社長
中森りか





ああああ……!!



ああああ
~~~~~  
っ!

ちよつとした有名なだ

持ち前のビジネスセンスを  
武器に若くして成功した  
カリスマギャル社長

A full-page illustration of a blonde woman with long, wavy hair and purple eyes. She is wearing a black business suit with a red top and a black skirt. She has her arms crossed and is standing against a background of a cityscape at night. The text is in Japanese and is placed in yellow boxes at the top of the page.

ちよつとした有名なだ

持ち前のビジネスセンスを  
武器に若くして成功した  
カリスマギャル社長

A full-page illustration of a blonde woman with purple eyes, wearing a black business suit with a red top and a black skirt, standing with her arms crossed against a cityscape background. The woman has long blonde hair with bangs and is looking directly at the viewer. She is wearing a black blazer over a red top, a black skirt with gold buttons, and black fishnet stockings with white garters. The background is a stylized cityscape at night with blue and purple tones. There are two yellow text boxes: one on the right side and one on the left side.

感じちゃう!!

グイグイ  
グイグイ  
グイグイ  
グイグイ  
グイグイ

ああーんっ!!  
いいわっ

私の名は  
小森リカ



私の名は  
小森リカ



もともとは渋谷で遊んでいた  
ただの不良ギャルだったけど



ギャル仲間を募って  
モデル会社を立ち上げたら  
大ヒット

そんでテレビや雑誌なんか  
登場し世間からチャホヤ  
もてはやされたりした

しかし今は資金繰りが  
苦しくなってマジで  
首が回らなくなっている



資金さえあればまた  
もり返せる自信が  
あるんだけど

今はとにかく  
まとまった金が欲しい

そんな今のうつ屈したウサを  
忘れる為のオナニー

ああーっ!!

ああんっ!!  
ああんっ!!

気持ちいいわっ!!

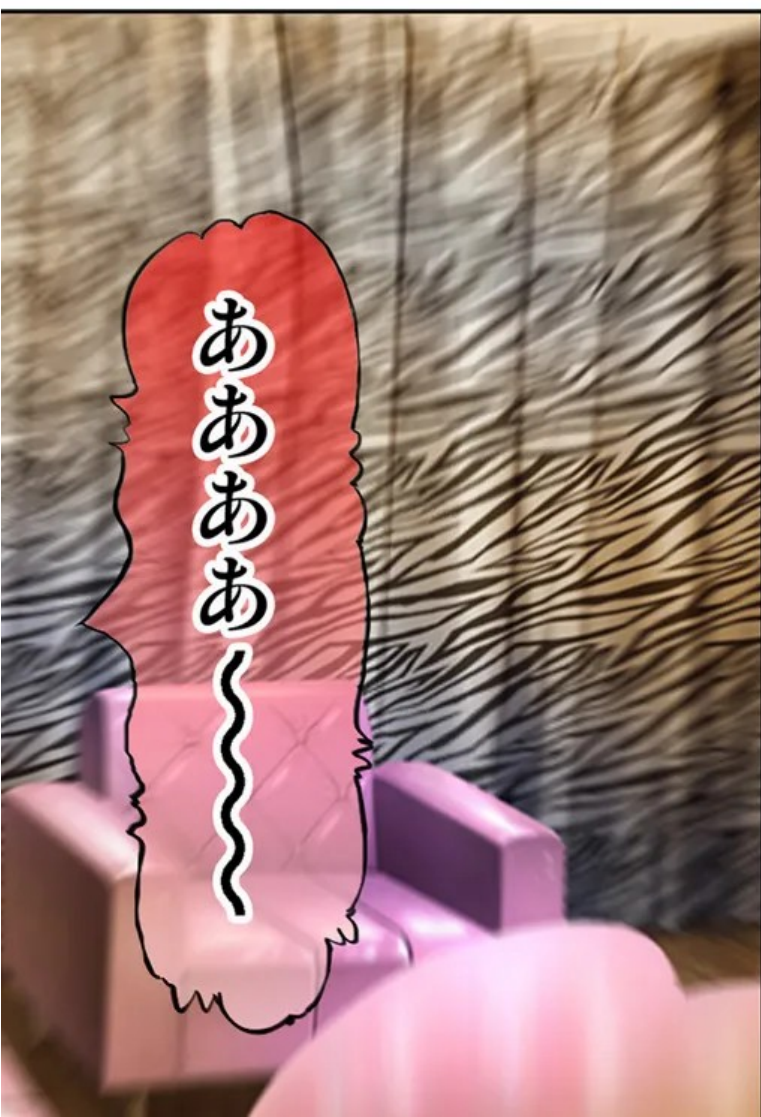


ああめっちゃ  
気持ちイイツ！！

ああああ  
~~~~~  
!!

じわあーっ

A close-up illustration of a hand holding a purple bulb syringe, with red sound effects like 'ッ' and 'ッッ' overlaid to indicate suction.





すべてがどうでもよくなる
ような強烈な絶頂感



しかしうだるような官能の
時間はおだやかな弧を
描くように去っていった

ふうっ…

現実に戻されていつもの
空しい気分になりながら
ローターを隠す





その時玄関のドアが
開く音がした

ダ
メ
メ



おい
馬券どうだった？

ちっもう
帰ってきたか



馬券だよ 馬券
今日のメインレース
頼んどいただろ？



ああっ？



んなもん
外れたに
決まってん
じゃん

しよぼっ！

コイツの名前は
猪狩哮



金にも女にもだらしない
ダメ男だがビジュアルだけは
そこそこなので
私のアクセサリーだ

まそういう事だね…
はい金は？

なんだよ

トボけんなよ馬券代
立て替えた5万返せよ





今金ねえんだよ

はあ？
ザケンなよ



ツケにしとけよ



ええっ…またあ？
つーか 5万返せよ

そそんなことよりさ
アレやってくれよ

今度勝つたら
必ず返すからさー

と言いながらさっさと
ズボンとボクサーパンツを
脱ぎ捨てた

うっ…おおい
もう半勃ちかよ

お前さーアタシを
ナンだと思ってるの？

恋人じゃねえの？
オレたち

一応
その可能性も
あるな

何だよそれ
それなら早く
しゃぶってくれよ

そうだ
今回パイズリの
フェラで頼むな

そのメチャエロい
巨乳で俺のチンポを
しごいてくれよ

しょうがないなー



実を言えば今だ処女の
私にはこういう事はかなり
恥ずかしいんだけど
そう思われたくないんだ



うおおっ!!
おお気持ちいい



いちいち注文の
多いヤツだな

その方がスベリが
よくなんだろう？

何だよ



リカよだれ
垂らしてくれよ



おお マジで
最高に気持ち
いいー

リカのフェラテクって
本当にイケてるよな…
むおおっ

くふふっ…
たまんねえ…
チチの感触も
サイコーだし
そのえげつない
舌使い最高だな

ムホッ
ムホッ
ムホッ

ムホッ
ムホッ
ムホッ
ムホッ
ムホッ

そう思うなら
早く出せよな

マジ中毒に
なりそうだぜ



そう言われると
こっちもエッチな
気分になって
くるんだよね

山ポ、
山ポ、
フポッ
フポッ
ズッ
ズッ



どうだ リカも
エッチな気分にな
ってきただろ？

ギクツ 天性の女たらしの
タケルはこういところ
はやけに勘がいいんだよね

なるわけないでしょとは
言ってみたが正直少し
感じてたんだ

へへへ そうかあ？
意外にマ○コは
ヌルヌルだったたり
してー

コイツ何で
わかるんだ
そんな事より
早くイケよ

本格的にやって
くれりやあ
あつという間だった

タケルは腰をつき出し
むりやり肉棒を奥へ
くわえこまされる

うげげっ!!

ワッ
フッ

うぐぐっ!!
ぐぐぐ!!

いいじゃねえか
おらおら

ニョ
ポッ
ウッ
ポッ
ポッ

アタシの動きに合わせて
カクカクと腰を振り
胸の谷間と口の中で
派手に肉棒をピストンさせる

ズ
ボッ

ニョ
ポッ
ウッ
ポッ
ポッ

やばっ!
か感じちやう
:!!

おお:出る!!
リカ射精すつぞ!
子種汁出すからな

ビ
ン
ビ
ン
ビ
ン
ビ
ン



ううう…
子種汁が出るっ!!

くううつ…
くううつ…



ぐああっ!!
もうだめだっ!!
くううつ!!



んぐぐぐっ!!

オレの子種汁
全部飲んでくれよ
残らず飲むんだ!

何だよ子種汁って
他に言い方ないのか?
くううつ

そうだそうだ
いいぞへへへ

ゴク
ゴク
ゴク

すっかり
飲みほしたか？

グッ
ボッ

ちよつと
アンタ
いい加減に
してよ！

毎回 気持ち
悪いモン飲ませて
アタシを何だと
思ってるのよ

ナニ言ってるの？
オンナが子種汁
飲むのは当たり前
の事じゃねえか

そうコイツって
男はこいつにヤツ

そういえば以前
オレの故郷の祭りに
一緒に参加して
ほしいって
話したじゃねえか

あああの話？
だから行かないって
言っただじゃん



そうだけどさー

嫌いなんだよ
気持ち悪い虫とか
蛇とか：畑の
匂いも嫌いだし

確か東北の
ど田舎の村で
「多田根村」って
言っただっけ？



親父から
聞いたんだけど
16世紀多田根村を
統治していた長者が

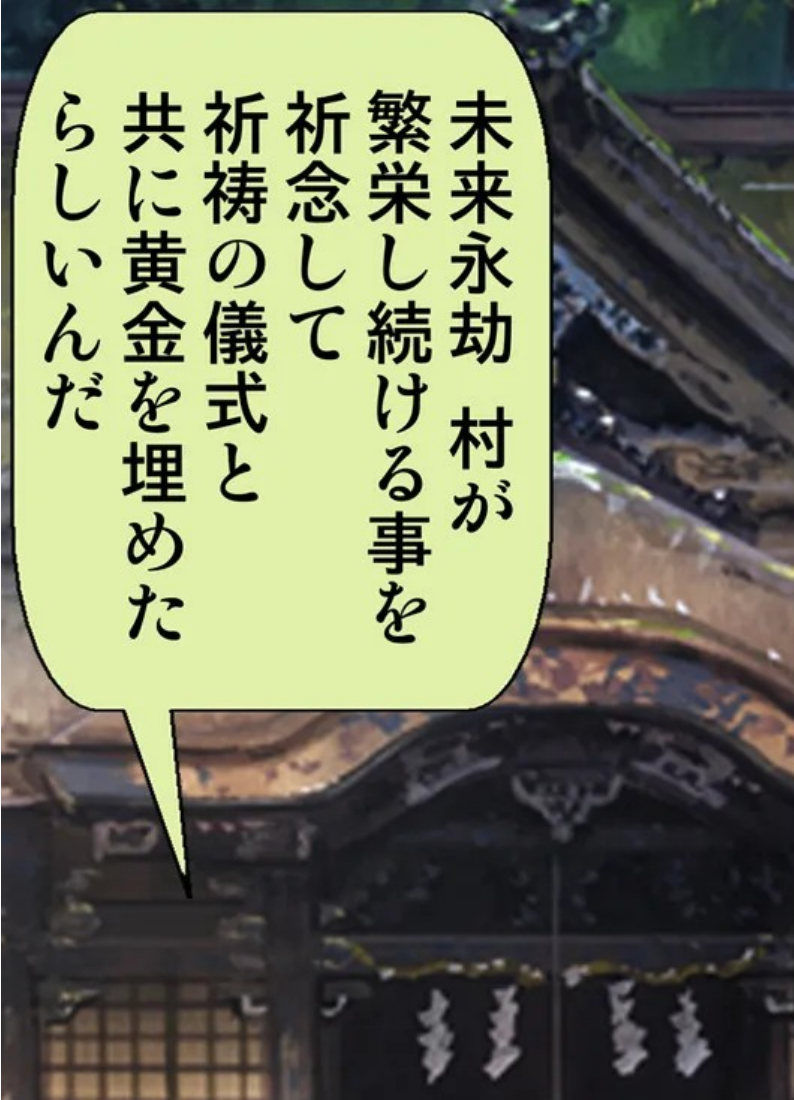


ある形に生成した
48個の黄金を村の
ある場所に埋蔵した
らしいんだ





目的は子宝祈願で
村の人口が
絶える事なく増え



未来永劫 村が
繁栄し続ける事を
祈念して
祈祷の儀式と
共に黄金を埋めた
らしいんだ



ガセじゃないの？



実はその
埋蔵金の一部が
チラホラ
見つかってんだ



うちの村って昔から
鉄砲水とかの被害が
多かつたらしいから

エー

埋めた場所から
バラバラになっち
まったんだろうな



ちなみにその黄金
男のチ○ポの形
してんの
言ってみりやあ
黄金の張方って
わけだ

何ソレ…



埋蔵金か…

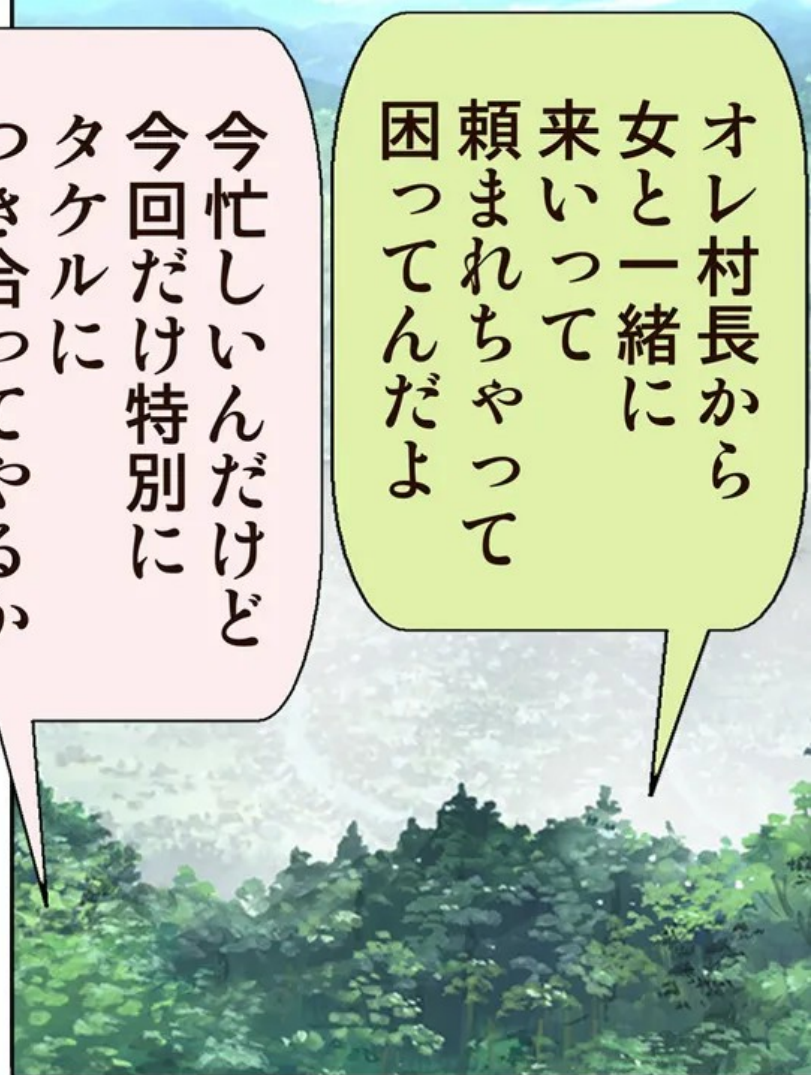
それさえあれば
借金を返して
会社をたて
直せるじゃん

オレ村長から
女と一緒に
来いって
頼まれちゃって
困ってんだよ

今忙しいんだけど
今回だけ特別に
タケルに
つき合ってやるか

村長ってタケルは
親しいの？

ああ：オレの
親父だから



え!?!
あんた村長の
息子なの？

まあ：長男じゃ
ないけどな

アタシは埋蔵金を求めて
多田根村へ行く事にした



不倫妻



ここはうらぶれた
ラブホテル――





ああ〜ん!!
小沼さん!!

美里
いいだろ?

だめっ今日は
危険日だから
ゴムをつけてっ…



私の
愛しい恋人
小沼さん

小沼さんと
出会って私の
生活は一変
しました

夫の猪狩孝介は経営の才能もないのに健康食品会社を立ち上げたがうまくいかず



多くの借金をかかえて会社は倒産寸前です

こんな生活にウンザリしている時に小沼さんと知り合いました



小沼さんはコンドームをつけたペ○スの先を私のアソコになすりつけ始めました



イヤーン
小沼さんじらさ
ないで

ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ

チン○の先を
美里のオマ○コに
擦りつけるだけで
イヤラシイ音
たててるぞ

はあぁ～ん…
意地悪はイヤっ!!
早くウ～早くウ

クチュ
ヌチュ
クチュ

入れて
ほしいのかい？

チ○ポを入れてって
おねだりしてごらん

ガチュン
ヌチュ
リチュ
チパッ
チポ

小沼さんはそういつて
さらに強く私の蜜穴に
ぺ○スをなすりつけます

あああゝっ!!
ああっ!!
ああっ!!

言うんだ
言わないとこれで
止めちゃうよ

イヤンっ:
やめないでっ!!

フ
チュ
グ
チュ
ペ
チャ

ク
ニ
ッ
フ
チュ
ア
ニ
ッ

ああ
ああっ:
ああっ:

じや言うんだ
これは命令だよ

ペ
チャ
フ
ニ
ッ
ペ
チャ



ううう…
小沼さんの…

ポチャ

ポチャ
ポチャ

何をだい？
美里は何を入れて
ほしいんだい？



ああああ…

い入れてっ…
入れて下さい…



いやあっ…
そんな恥ずかしい事
言えないっ！

オ○ン○ンじゃない
○ンポだろ？



小沼さんの
オ○ン○ンを
入れて下さい



あああ…

言わないと
入れて
あげないぞ



あああ…
小沼さんっ
いやあああ!!

小沼さんはペ○スの先で
私のアソコのヒダに
こすりつけ開いたり
閉じたりしました

い言いますから
そんなイタズラ
しないでええ…

それじゃ
言うんだよ

ペチャ
フチャ
ペチャ

ビリッ

あッ

あッ

ハアッ

ハア

ビッ

ビッ

ビッ

フチャ

こ
小沼さんの…

ハアッ

ハア

ハアッ

ハアッ

ハアッ

ハアッ

小沼さんの
チ○ポを
入れて下さい

つづく